埼玉親善大使　留学レポート
氏名 ：　　鵜殿　響
留学先 ：　　アメリカ合衆国

結論から述べると，私の滞在した地域のアメリカでは「Saitama」を知っている人はほとんどいなかった．私が出身地を答えても伝わらないため，「Tokyo の近く」という言葉を必ず付け足すようになった．自宅から 30 分ほどで東京に行くことができると言うと，「羨ましい，一度でいいから行ってみたい」とみんなが東京への憧れを口にした．アメリカで私の周りにいた人たちが知っている日本の地名は東京，京都，大阪くらいで，彼らの中にある日本の主なイメージは，ハイテクノロジーあるいは伝統的で美しい文化に集約される．

日本文化が好きなアメリカ人の友人ですら，「Saitama」や「Kawagoe」を知らなかった．川越は小江戸と呼ばれ景観も伝統的で美しく，最近では世界中の若者に人気のアプリである Instagram でよく映えるような食べ物やイベントに力を入れており，埼玉の中で特に人気のある観光地になっている．それゆえ海外からの観光客にも人気の高い場所だと思っていたが，海を越えればまだまだ無名であったらしく，大変衝撃を受けた．

そこで私は始めに，日本に興味のある人の中での埼玉の知名度を上げる活動から始めた．日本語を勉強したい社会人が集う言語交換会や，他大学の日本人学生協会が主催するイベントに積極的に参加した．アニメや漫画が好きな人にはモデルとなった地名である秩父や川越などを紹介し，そこがどのような場所であるかを写真で見せるなどした．また，日本の文化に興味がある人には，小川和紙を使って折り鶴の折り方の講習会をした．みんな興味深そうに和紙の独特な手触りを楽しみ，日本人はこんなにも手先が器用なのかと聞いてくる人もいた．さらに，今度日本に行くときにぜひ埼玉に行きたいと言ってくれた人もいて，埼玉親善大使としての役割を果たせたと感じ嬉しく思った．

逆に彼らが教えてくれたこともある．アメリカでは様々なバックグラウンドを持つ友達ができたが，彼らは宗教や信念が理由で食べられないものがある．アメリカではベジタリアンのための食事がどのお店にも，それこそピザ屋やハンバーガーショップにもある．そんな彼らに日本食を勧めるときに，あまりの選択肢の少なさに困ったことがあった．日本の料理には調味料として酒や，出汁として魚や肉が使われていることが多いからだ．東京 2020 オリンピック・パラリンピックの一部競技は埼玉県内で開催されることもあり，今後埼玉県内の国際化は進んでいくことになる．埼玉に興味を持ち訪れてくれた様々なバックグラウンドの人に対応した料理を，一部のお店に限らず提供できるようになることが埼玉の国際化の第一歩になるのではないかと思う．

社会人の言語交換会の様子．英語以外を第一言語とする人と，第二言語を学びたいアメリカ人の交流会である．ここでは埼玉親善大使としての活動以外に，様々な言語や文化に触れあうことができた．

言語交換会にて，小川和紙を使った折り鶴の折り方の講習会をした．左側が私の作ったお手本で，右側が生徒の作品．少し難しかったようだが，和紙の独特な手触りを楽しんでくれた．鮮やかな色合いや綺麗な正方形であることへの驚きも見受けられた．

アメリカで日本酒は意外なことに人気で，「sake」と呼ばれ親しまれている．写真の大関は日本で有名な酒造メーカーだが，アメリカにも自社工場がある．大関の創業が1711 年と書いてあるのを見て，1776 年に独立した「アメリカよりも歴史が長い」という友人の呆然とした呟きが印象的だった．